PC-P1LAN

困ったときは

本書には、PC-P1LAN(以降、本製品と記載します)の制限事項や困ったときのおもな対処方法を記載しています。さらに詳しい情報は、付属のユーティリティCDに収録されているPDFファイル「PC-P1LANユーザーズマニュアル」をご参照ください。

制限事項

Q & A

制限事項
イーサネットコンバータと本製品を併用するときの設定

本製品をマルチクライアントモード対応イーサネットコンバータ(2006年5月現在、WLI3-TX1-G54、WLI3-TX1-AMG54、WLI2-TX1-AMG54、WLI-TX4-G54HP)と接続する場合は、下記のどちらかの設定をしないとサーバに接続することができません。上記に記載のイーサネットコンバータをお使いの方は必ず行ってください。

※起動サーバが、本製品と同一HUBに接続されている場合は下記の設定は不要です。

マルチクライアントモードを無効にする	マルチクライアントモードを一時的に無効にして、本製品を起動させ、マルチクライアントモードを有効の状態で設定する
メリット　：初回設定のみで継続使用可能 デメリット：本製品以外に接続不可	メリット　：本製品、パソコンを複数台有線接続可能 デメリット：設定が複雑 本製品を再起動するたびに再設定が必要

設定手順

3ページ「マルチクライアントモードを無効にする」へ

設定手順

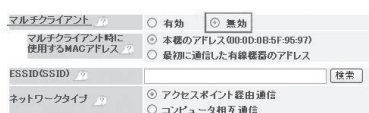
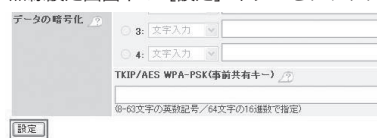
4ページ「マルチクライアントモードを一時的に無効にして、本製品を起動させ、マルチクライアントモードを有効の状態で設定する」へ

■ 設定手順「マルチクライアントモードを無効にする」

マルチクライアントモードを無効にする方法は、製品毎に設定内容が異なります。以下のご使用の製品をご確認ください。

●WLI3-TX1-G54、WLI3-TX1-AMG54、WLI2-TX1-AMG54をお使いの方へ

イーサネットメディアコンバータのマルチクライアント機能を無効にする手順は以下のとおりです。

1. イーサネットメディアコンバータの設定画面を表示させます。
   設定画面の表示方法はイーサネットコンバータのマニュアルをご参照ください。
2. トップ画面の［アドバンスト］ボタンをクリックします。
3. 無線設定画面の［マルチクライアント］欄の［無効］にチェックを入れます。
4. 無線設定画面下の［設定］ボタンをクリックします。
5. 「設定を保存しています...完了」と表示されたら設定完了です。

※マルチクライアント機能を無効にするとイーサネットメディアコンバータに接続できる機器は1台になります。ハブ経由で複数台の機器を接続する場合は、マルチクライアント機能を有効にしてご利用ください。

●WLI-TX4-G54HPをお使いの方へ

イーサネットメディアコンバータのマルチクライアント機能を無効にする手順は以下のとおりです。

1. AirStation(親機)にパソコンを有線または無線で接続します。
   【AirStation付属「らくらくセットアップシート　ステップ2」参照】
2. イーサネットコンバータ(子機)をAirStation(親機)に無線で接続します。
   【イーサネットコンバータ付属「らくらくセットアップシート　ステップ2」参照】
3. イーサネットコンバータに本製品を付属のLANケーブルで接続します。
   ※PC-P1LAN一台のみを接続してください。
4. イーサネットコンバータのWEB設定画面を表示します。
5. イーサネットコンバータを本製品でも使用できるように設定を行います。
   [WEB設定画面]より[アドバンスト]をクリックします。
   [無線設定]-[無線通信に(またはマルチクライアント時に)使用するMACアドレス]で
   [最初に通信した有線機器のアドレス]を選択し、[設定]をクリックします。

以上で設定は完了です。
設定が完了すると「完了しました」と表示されます。

※イーサネットコンバータに接続する機器を変更すると前回設定した機器に対する情報が保持されたままのため正常に動作しません。変更したときは、必ず手順1～5を行ってください。

■ 設定手順「マルチクライアントモードを一時的に無効にし、本製品を起動させ、マルチクライアントモードを有効の状態で設定する」

以下の操作をを行うことで、イーサネットコンバータをマルチクライアントモードで、パソコンと本製品を接続させ使用することが可能になります。

以下のどの設定の場合でも本製品の電源が切れてしまった場合は、再度、同様の設定が必要になります。

●WLI3-TX1-G54、WLI3-TX1-AMG54、WLI2-TX1-AMG54をお使いの方へ

[イーサネットコンバータに、パソコンと本製品を接続したい場合]

※本製品のLANケーブル、電源ケーブルはあらかじめ抜いておいてください。

1. AirStation（アクセスポイント）とイーサネットコンバータを、マルチクライアントモードを無効にして無線接続します。
   マルチクライアント機能を無効にする手順は、3ページをご参照ください。
2. 本製品をイーサネットコンバータにLANケーブルで接続し、電源ケーブルを接続します。
3. 本製品が起動が終了した後、イーサネットコンバータを、「マルチクライアントモード」に変更します。
4. イーサネットコンバータとパソコンをLANケーブルで接続します。

[イーサネットコンバータに、本製品を二台（LinkTheaterA、LinkTheaterB）接続したい場合]

※本製品のLANケーブル、電源ケーブルはあらかじめ抜いておいてください。

1. AirStation（アクセスポイント）とイーサネットコンバータを、マルチクライアントモードを無効にして無線接続します。
   マルチクライアント機能を無効にする手順は、3ページをご参照ください。
2. LinkTheaterAをイーサネットコンバータにLANケーブルで接続し、電源ケーブルを接続します。
3. LinkTheaterAが起動後、LinkTheaterAとイーサネットコンバータを接続しているLANケーブルをはずします。
4. LinkTheaterBをイーサネットコンバータにLANケーブルで接続します。
5. イーサネットコンバータの電源ケーブルをはずします。
6. イーサネットコンバータの電源を接続します。
7. LinkTheaterBの電源ケーブルを接続します。
8. LinkTheaterBが起動後、イーサネットコンバータをマルチクライアントモードに変更します。
9. LinkTheaterAをイーサネットコンバータにLANケーブルで接続します。

●WLI-TX4-G54HPをお使いの方へ

[イーサネットコンバータに、パソコンと本製品を接続したい場合]

※本製品のLANケーブル、電源ケーブルはあらかじめ抜いておいてください。

1. イーサネットコンバータのLANポートに何も接続されていない状態で、AirStation（アクセスポイント）とイーサネットコンバータを無線接続します。
2. イーサネットコンバータの「マルチクライアント時に使用するMACアドレス」を、「最初に通信した有線機器のMACアドレス」に設定します。
3. LinkTheaterとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続します。
4. LinkTheaterの電源を接続します。
5. LinkTheaterが起動後、イーサネットコンバータの「マルチクライアント時に使用するMACアドレス」を、「本機のアドレス」に変更します。
6. パソコンとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続します。

[イーサネットコンバータに、本製品を二台（LinkTheaterA、LinkTheaterB）接続したい場合]

※本製品のLANケーブル、電源ケーブルはあらかじめ抜いておいてください。

1. イーサネットコンバータのLANポートに何も接続されていない状態で、AirStation（アクセスポイント）とイーサネットコンバータを無線接続します。
2. イーサネットコンバータの「マルチクライアント時に使用するMACアドレス」を、「最初に通信した有線機器のMACアドレス」に設定します。
3. LinkTheaterAとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続します。
4. LinkTheaterAの電源を接続します。
5. LinkTheaterAが起動後、LinkTheaterAとイーサネットコンバータを接続しているLANケーブルをはずします。
6. LinkTheaterBとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続します。
7. イーサネットコンバータの電源ケーブルをはずします。
8. イーサネットコンバータの電源を接続します。
9. LinkTheaterBの電源を接続します。
10. LinkTheaterBの起動後、イーサネットコンバータの「マルチクライアント時に使用するMACアドレス」を、「本機のアドレス」に変更します。
11. LinkTheaterAとイーサネットコンバータをLANケーブルで接続します。

制限事項

ファイアウォールの設定

ファイアウォールの機能が有効となっている場合、本製品からパソコンを認識できないことがあります。
この場合は、ファイアウォール機能を無効にするか、UDPポート「59821」「59823」とTCPポート「8888」「9666」「9667」「58080」「58001」「59824」の使用を許可するか、ファイアウォールを設定しているソフトをアンインストールしてください。
設定に関する手順については、ソフトメーカーにお問い合わせください。以下では、ファイヤーウォール機能を無効にする手順を例として記載します。

●トレンドマイクロ社ウイルスバスター2006ファイアウォール無効手順

以下の手順で「パーソナルファイアウォール機能」を無効にしてください。 本製品の使用が完了したら、再度「パーソナルファイアウォール」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される「ウイルスバスター2006 」アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［メイン画面を起動］をクリックします。
2. メイン画面内の［不正侵入対策/ネットワーク管理］をクリックし、カテゴリ画面から［パーソナルファイアウォール］をクリックします。
3. [パーソナルファイアウォール] 画面より［パーソナルファイアウォールを有効にする］のチェックボックスをクリックし、チェックの表示を消します。
4. [適用]をクリックし、メイン画面を終了します。

以上で設定は完了です。

●Norton Internet Security 2006ファイアウォール無効手順

以下の手順でNorton Internet Securityを無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「Norton Internet Security」を有効にしてください。

1. 画面右下のタスクトレイ内に表示される[Norton Internet Security 2006] アイコンを右クリックし、表示されるメニューから［Norton Internet Securityを無効にする］をクリックします。
2. ファイアウォール機能をオフにする期間を選択し、［OK］をクリックします。

以上で設定は完了です。

●Windows Vistaファイアウォール無効手順

以下の手順でWindowsファイアウォールを無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「Windowsファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート]-[コントロールパネル]をクリックし開きます。
2. [セキュリティ]をクリックします。
   ※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、［セキュリティ］項目はありません。手順３へ進みます。
3. [Windows ファイアウォール］の［Windows ファイアウォールの有効化または無効化］をクリックします。
4. [ユーザーアカウント制御]画面で[続行]をクリックします。
5. [Windowsファイアウォールの設定]画面の[全般]タブの[無効（推奨されません）]にチェックを入れ、［OK］をクリックします。

以上で設定は完了です。

●Windows XP SP2(サービスパック2)ファイアウォール無効手順

以下の手順でWindowsファイアウォールを無効にしてください。本製品の使用が完了したら、再度「Windowsファイアウォール」を有効にしてください。

1. [スタート] - [コントロールパネル]をクリックし開きます。
2. [セキュリティセンター] をクリックします。
   ※コントロールパネルをクラシック表示にしている場合、[セキュリティセンター] 項目はありません。手順３へ進みます。
3. [Windows ファイアウォール] をクリックします。
4. [無効(推奨されません)] にチェックを入れ、[OK] をクリックします。

以上で設定は完了です。

Q & A

起動画面が表示されません

●イーサネットコンバータをお使いの場合、イーサネットコンバータの設定を行っていないと起動画面が表示されないことがあります。2～4ページに記載の設定手順をご参照ください。

●ファイアウォールを設定している場合、起動画面が表示されないことがあります。5ページに記載の設定手順をご参照ください。

●電源ケーブル・LANケーブルの接続、ユーティリティCD簡単セットアップによるセットアップ正常に完了していないと、起動画面が表示されません。別紙「はじめにお読みください」に記載のセットアップ手順をご参照ください。

Q & A

サーバに接続できません

●ファイアウォールを設定している場合、サーバに接続できないことがあります。5ページに記載の設定手順をご参照ください。

●イーサネットコンバータをお使いの場合、イーサネットコンバータのファームウェアが古いとサーバに接続できないことがあります。弊社ホームページ(buffalo.jp)から最新のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

●本製品付属のメディアサーバでは、アクセス制限機能により、特定のパソコンからサーバに接続できないように設定することができます。詳しくはユーティリティCDに収録されているPDFファイル「PC-P1LANユーザーズマニュアル」をご参照ください。

Q & A

コマ送り・スロー再生・早送り・巻き戻しができません

●MPEG-2以外のファイルは、コマ送り・スロー再生はできません。

●MPEG-2、MP3以外のファイルは、早送り・巻き戻しはできません。

Q & A

再生するとコマ落ちや音飛びがします

●映像がコマ落ちするなど滑らかに表示できないときや、ビットレートが8Mbps以上のMPEG-2ファイルを再生したいときは、ユーティリティCDに収録されているPDFファイル「PC-P1LANユーザーズマニュアル」に記載の手順であらかじめファイルを変換してください。

Q & A

動画や音楽が再生できません

本製品で再生できるファイルの種類は、次の通りです。

項目		内容
Media Serverのトランスコード対応形式（※1、2）		・AVI(※ 3)、 WMV、WMA、GIF
対応コンテンツ形式		・MP3, WAV(非圧縮) のいずれかでエンコードされたオーディオファイル ・JPEG, BMP, PNG のいずれかで保存／圧縮された画像ファイル ・MPEG-2 形式でエンコードされた動画ファイル
対応動画フォーマット形式	映像部デジタル圧縮形式	・ MPEG-2標準解像度 (*.MPGファイル、m2pファイル) 最大解像度 720x480 最大8Mbps（※4）、 最大フレームレート30fps
	音声部デジタル圧縮	・MPEG-1 Audio Layer 2　　2チャンネル ・MPEG-1 Audio Layer 3　　2チャンネル
	音声部デジタル非圧縮	・リニアPCM　　2チャンネル (S/P DIF)　16bit , 48kHz
対応音声フォーマット形式		・リニアPCM(*.WAV) ・MPEG-1 Audio Layer-3(*.MP3)
対応画像フォーマット形式		・JPEG（※5）、BMP、PNG

※１：本製品はMPEG-2、MP3を再生します。MPEG-2、MP3以外の形式は自動的にトランスコードして再生します。トランスコードには以下の動作環境が必要となります。

■アプリケーション動作環境
【CPU】Pentium4 1.4GHz以上または同等性能の互換CPU【メモリ】256MB以上

■動作推奨環境
AVIファイル 画面サイズ640x480ドット 標準画質の場合
【CPU】 Windows Vista: 最新のプロセッサ 2.5GHz 以上
Windows XP/2000: Pentium4 1.8GHz以上 / Celeron 1.8GHz以上 / Pentium M 900MHz以上、Celeron M 1.0GHz以上または同等性能の互換CPUを推奨。
【メモリ】Windows Vista:1GB 以上、Windows XP/2000:512MB 以上を推奨。
＊画面サイズ・ビットレートによっては、上記以外の環境でも再生可能な場合もあります。
＊すべての動作を保証するものではありません。
＊ファイルによっては映像と音声がズレて再生されることがあります。
＊トランスコードして再生した場合、早送りや巻き戻し、コマ送りの操作はできません。
＊トランスコードして再生した場合、動画や音楽を停止したところから再開するレジューム機能が働きません。

※２: 映像がコマ落ちするなど滑らかに表示できないときや、ビットレートが8Mbps以上のMPEG-2ファイルを再生したいときは、ユーティリティCDに収録されているPDFファイル「PC-P1LANユーザーズマニュアル」に記載の手順であらかじめファイルを変換してください。

※３：AVIファイルの再生に必要なCODECがパソコンにインストールされている必要があります。

※４：本製品を11Mbpsの無線LANで接続した場合、またはUSB1.1の機器から再生した場合、3Mbps以上のファイルではコマ落ちや音とびが発生することがあります。

※５：ベースラインJPEGのみ使用できます。

上記に記載のファイル以外は再生できません。
再生できない主なファイル形式は以下の通りです。
・Real Media形式の動画や音声（rm, ra, ram, rmvb）
・QuickTime形式の動画（qt, mov）　・MPEG4形式の動画（mp4, mpg）
・MPEG2-TS形式の動画　・PAL方式の動画　・GIFアニメーション
※接続するサーバーによって再生可能な形式に違いがあります。
詳しくは弊社ホームページ(buffalo.jp) の DLNAガイドライン対応機器との接続確認済み一覧をご覧ください。